

次世代 HERO

Next Generation's Hero

やまね
山根ゆめさん

読売学生書展
中学生部門
文部科学大臣賞

小学1年生の頃から、2歳上の兄の影響で、下関市内の習字教室に通い始める。



昨年、行われた、第42回読売学生書展の中学生部門で、最高賞の文部科学大臣賞に輝いた山根ゆめさんを紹介します。

受賞作は、楷書の「飛龍乗雲」でした。習字の先生に指導を受けながら、何百枚も書きました。受賞を聞いたときは、「うれしかったけど、自信がなかったので、驚きの方が強かったです」と笑顔で話します。

先生に細かいところを直してもら

い、形が固まってきたら、一筆一筆、集中して、最後は字に気持ちを込めて夜遅くまで練習をしていました。「稽古時間が過ぎてもご指導してくださった先生に感謝しています」

4月から高校生となり、「古典を勉強して、芸術的な字が書けるように、レベルアップしたいです。目標は文化部のインターハイと言われる全国高等学校総合文化祭で1番上の賞を頂くことです」と話してくれました。



4月臨時議会市長あいさつ

この市長コラムも自身で執筆していきます。これからもよろしくお願いいたします。

コロナに負けない強い下関に



市長コラム 希望の風

市長の部屋

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。新年度が始まりましたね！ 同時に私にとっても市政2期目が始まりました。市長選が行われる年は、通年には無い「4月臨時議会」というものが開かれます。通常であれば人事議案中心の議会ですが、今回は、新型コロナウイルス感染症関連の経済対策予算を盛り込むことにしました。1年以上続くコロナの影響によって多くの市内事業者が、今なお経営難により、苦しんでいます。そのような事業者への救済措置として、前年対比で売り上げが5割以上減少していることを主な要件として現金を給付することとしました。この件は議会からの強い要望でもあり、急を要するため、特別に「4月臨時議会」に提案することとしました。他にも、さまざまな生活環境の変化や、迅速なワクチン接種などに対応するための国の交付金を活用した取り組みを、次の「5月臨時議会」にて議論できるように検討を進めています。

そして、「6月定例議会」では、私が選挙にてお約束をしたことも含め、新たな政策的経費を「肉付け予算」として提案、議論し、矢継ぎ早に下関市内に発信し、コロナに負けない強い下関をつくっていきます。